

平成25年第1回（3月）定例会 文教生活常任委員会報告書

議案番号	議案の名称	審査結果	採決日
議案第25号	平成25年度宝塚市病院事業会計予算	可決 (全員一致)	3月4日
議案第28号	宝塚市福祉医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決 (全員一致)	
議案第29号	宝塚市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について	可決 (全員一致)	
議案第30号	宝塚市立身体障害者支援センター条例等の一部を改正する条例の制定について	可決 (全員一致)	
議案第31号	宝塚市介護保険条例の一部を改正する条例の制定について	可決 (全員一致)	
議案第32号	宝塚市指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の制定について	可決 (全員一致)	
議案第33号	宝塚市指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の制定について	可決 (全員一致)	
議案第34号	宝塚市指定地域密着型サービス事業者及び指定地域密着型介護予防サービス事業者の指定に関する基準を定める条例の制定について	可決 (全員一致)	
議案第35号	宝塚市パチンコ店等及びラブホテルの建築の規制に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決 (全員一致)	
議案第36号	宝塚市病院事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決 (全員一致)	
議案第37号	宝塚市立スポーツセンター条例の一部を改正する条例の制定について	可決 (全員一致)	
議案第47号	工事請負契約（市立長尾幼稚園園舎新築（建築）工事）の締結について	可決 (全員一致)	
請願第19号	長尾幼稚園の安全確保と地域に根ざした幼稚園となることを求める請願	一部採択 (全員一致)	

審査の状況

① 平成25年2月27日 (議案審査・現地視察)

- ・出席委員 ◎三宅 浩二 ○浅谷 亜紀 石倉 加代子 井上 きよし
北野 聡子 佐藤 基裕 となき 正勝 藤岡 和枝
村上 正明 (◎は委員長、○は副委員長)

② 平成25年3月4日 (議案審査)

- ・出席委員 ◎三宅 浩二 ○浅谷 亜紀 石倉 加代子 井上 きよし
北野 聡子 佐藤 基裕 となき 正勝 藤岡 和枝
村上 正明 (◎は委員長、○は副委員長)

③ 平成25年3月14日 (委員会報告書協議)

- ・出席委員 ◎三宅 浩二 ○浅谷 亜紀 石倉 加代子 井上 きよし
北野 聡子 佐藤 基裕 となき 正勝 藤岡 和枝
村上 正明 (◎は委員長、○は副委員長)

議案番号及び議案名

議案第25号 平成25年度宝塚市病院事業会計予算

議案の概要

病院事業会計のうち、収益的収入を103億6,000万円余、収益的支出を103億5,800万円余、資本的収入を12億2,000万円余、資本的支出を30億2,400万円余とするもの。

論点 1 改革プランと予算案との整合性について

論点 2 今後の方向性について

<質疑の概要>

問1 市立病院では平成21年に経営改革プランを策定しており、その中では平成25年度末の黒字は4,500万円だが、本予算では209万円の黒字となった原因は。

答1 黒字額の減については、電気料金の値上げが大きく影響している。黒字化に向けて経常収支比率の常時100%以上をめざす。

問2 心療内科、産婦人科、リハビリテーション科の方向性は。

答2 心療内科は改革プランに記載されているが、現行のままでよいとの見方もあり様子をみている。リハビリテーション科については、作業療法士、言語療法士、理学療法士の拡充を検討している。産婦人科については、関連大学と協議しており、今後、関連大学以外との協議も検討したい。

問3 スタッフの体制の充実について方向性が見えないが、今後の考えは。

答3 今までは、医師が集まってくるところを応援していた。現在一定数確保できたので方向性を定める時期に来ている。地域の中核病院として求められている救急の充実には、搬送例の多い症例への対応の充実が必要であり、市民ニーズの高い産婦人科、糖尿病、放射線治療は重点的に進めないといけない。また、がん診療連携拠点病院の認可を目指すなど、26年度からの中期計画の中で検討していく。

問4 院外処方について費用以外の効果は。

答4 薬剤師を病棟に配置することで薬剤指導管理料等加算収入が見込まれることと、薬剤師が病棟で投薬指導を行うことで、より薬品に対して安全安心な医療を提供できると考えている。

問5 院外処方後の外来収入状況等の説明を。

答5 院内処方時と比較して、外来収入の減と投薬収入の減が同額であるが、医薬品購入費で相殺できる見込。

問6 院外処方となりデメリットを感じている市民に対して、どう思っているのか。

答6 国の医薬分業の方針により、阪神間の公立病院で最後に導入した。幸い処方箋薬局が近くに4軒あり、病院としてできる範囲での道路整備や、院内に無料FAXを設置するなど対応している。患者の来院周期が3、4カ月で変わる状況であり、年度末で一度検討したい。

問7 平成26年度の公営企業会計基準改正によりシステム改修が必要と聞いているが、費用は反映されているのか。一般会計からの繰り入れは。

答7 医業費用の委託料の中に反映。一般会計からの繰り入れは、総務省基準どおり経費の2分の1以下となっている。

問8 病院独自で医薬品のコストダウンを図っている市もあるが。

答8 材料費については、委託でSPDを導入しているが在庫量が多いところもあり、経費節減について検討を進める。医薬品についてはジェネリック薬品への変換など推進していきたい。

問9 ジェネリック薬品の使用の推進は良いが、患者にはわかりにくいのでは。

答9 ジェネリック薬品については、先発品の方が良く効くのではといった印象を持つ患者も多い。院内でも調整し、患者に分かりやすい説明をしていきたい。

問10 医師や看護師の確保は重要であるが、市立病院として市民の信頼を得ることが重要と考えるが、医師や看護師の質の向上として具体的な方策は。

答10 看護師の確保は非常に難しいが、看護専門学校から一定数確保されている。質の向上については、新人研修プログラムを多く設定、ナーシングスキルの導入や看護師同士でのグループ研究の推進などに取り組んでいる。また、専門看護師や認定看護師が多く集まっており、周囲にもよい影響が出ている。医師については、コミュニケーションのスキルを上げることが重要。関連大学と、よくコミュニケーションを図り進めていくことが医師の質の向上に繋がると考えている。

問11 市立病院の基本理念として、市民の健康と命を守ることがあると思うが、予防医療に焦点を当てた事業を公開講座において行うのか健康部門と連携していくのか方向性は。

答11 予防医療も公開講座の目標の一つであり、今後も講座の中に取り入れたい。また急性期病院の役割として2次健診の取り組みは進めていきたい。実践については市の各担当部署でも進めており、専門性を生かした取り組みを行っている。

自由討議	なし
討 論	なし
審査結果	可決（全員一致）

平成25年第1回（3月）定例会 文教生活常任委員会報告書

議案番号及び議案名	
議案第28号 宝塚市福祉医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例の制定について	
議案の概要	
兵庫県のこども医療費助成事業が、通院医療について対象者を拡大したことに伴い、本市の乳幼児等医療費助成制度について、外来に係る医療費の助成対象を、現行の小学校6年生までから、新たに中学校3年生までに拡充するため、条例の一部を改正しようとするもの。	
論 点 1 乳幼児等医療費助成制度の今後の方向性について	
<質疑の概要>	
問1	医療費助成は少子化対策の最たるもののひとつ。他市とよい意味で競争して市の価値を上げていかないといけない。健全な都市として機能していくためにも、子どもを育てやすい環境の充実は大きな課題と考えるが。
答1	子どもが育ちやすい、また育てやすいまちをつくるには保育所や医療の確保は必要という方向性は認識している。対象年齢を少しでも引き上げるなど施策を進めているが、所得制限等引き続き議論を進めながら取り組んでいきたい。
問2	市民にとっては所得制限がなく無料というのがベストだが、市の方向性は。
答2	最重点項目として取り組んでいくという認識はある。骨格予算でもあり、6月補正以降の段階で最終的な判断をしながら努力していきたい。
自由討議	なし
討 論	なし
審査結果	可決（全員一致）

平成25年第1回（3月）定例会 文教生活常任委員会報告書

議案番号及び議案名	
議案第29号 宝塚市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について 議案第31号 宝塚市介護保険条例の一部を改正する条例の制定について	
議案の概要	
法改正に伴い、不利益処分や、申請に対する拒否処分への理由付記が義務付けられたことから、条例の一部を改正しようとするもの。	
論 点	なし
<質疑の概要>	なし
自由討議	なし
討 論	なし
審査結果	議案第29号 可決（全員一致） 議案第31号 可決（全員一致）

議案番号及び議案名	
議案第30号 宝塚市立身体障害者支援センター条例等の一部を改正する条例の制定について 議案第35号 宝塚市パチンコ店等及びラブホテルの建築の規制に関する条例の一部を改正する条例の制定について	
議案の概要	
障害者自立支援法の一部が改正され、同法の名称が障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律になることから、同法を引用している規定を整備するため、条例の一部を改正しようとするもの。	
論 点	なし
<質疑の概要>	なし
自由討議	なし
討 論	なし
審査結果	議案第30号 可決（全員一致） 議案第35号 可決（全員一致）

平成25年第1回(3月)定例会 文教生活常任委員会報告書

議案番号及び議案名

議案第32号 宝塚市指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の制定について

議案第33号 宝塚市指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の制定について

議案第34号 宝塚市指定地域密着型サービス事業者及び指定地域密着型介護予防サービス事業者の指定に関する基準を定める条例の制定について

議案の概要

介護保険法の一部が改正されたことに伴い、国の省令で定めていた基準を市の条例で定めることとされたため、これらに関する規定を定めるため、条例を制定しようとするもの。

論 点 1 独自基準設定の考え方

<質疑の概要>

問1 伊丹市や尼崎市は独自基準を設けた上でパブリックコメントも行っているが、宝塚市は独自基準の検討をしなかったのか。

答1 地域包括支援センター運営協議会や介護保険事業者運営協議会で市の意見を提示し意見を求めたが申し出はなかった。

問2 他市の状況を提示し意見を求めたのか。

答2 提示していない。これから先進地の運用実態を見て検討したい。

問3 条例の制定に向けての事前検討等丁寧さに欠けた感がある。賛否両論はあるが真摯に受け止めてほしい。国の規定が設けられていないところで独自基準を設けている市もあるが、今の考えは。

答3 小規模特養については、国の方針が相部屋を推奨しておらず、市も個室化を堅持していきたい。また、長崎のグループホームの火災事例からも、小規模でもスプリンクラーを設置するなど安全安心面の基準を持っていきたい。

問4 地域との連携においては幅広い分野ではあるが、市としてもう一步踏み込んだ形で充足を図るべきではないか。人的配置など財源措置の見通しや今後の流れは。

答4 再来年介護保険制度の改正があり、その時点でなんらかの見通しが出てくると考えている。

問5 事業者側の課題や意向の確認は。

答5 特に場は設けていない。グループホームなどでは2カ月に1回の運営推進会議の

際に施設長や利用者から意見を聞く機会があるが、現行の運営基準等についての意見は聞いていない。

問6 今後の見直しについて意見の反映は。

答6 今月末事業所向けに説明会を行う予定。また運営推進会議で利用者に説明する場を設けたい。

自由討議

議員A 参酌すべき基準イコール従うべき基準という感覚があったのではないか。今後は、市独自で考えられることは考えていって欲しい。

討 論 なし

審査結果 議案第32号 可決 (全員一致)

議案第33号 可決 (全員一致)

議案第34号 可決 (全員一致)

平成25年第1回(3月)定例会 文教生活常任委員会報告書

議案番号及び議案名 議案第36号 宝塚市病院事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例の制定について
議案の概要 市立病院の診療科目に新たにリウマチ科を追加し、リウマチ、膠原病など、免疫疾患の診療体制を整備するため、条例の一部を改正しようとするもの。
論 点 1 リウマチ科設置の影響について <質疑の概要> 問1 リウマチ科設置の影響と、増えていく診療科について今後の方向性は。 答1 リウマチ科を標榜することで受診したい患者にとってわかりやすくなるが、どこかで組織の形を整理しなければいけないとは考えている。中期計画に向けて議論していきたい。
自由討議 なし
討 論 なし
審査結果 可決(全員一致)

議案番号及び議案名

議案第37号 宝塚市立スポーツセンター条例の一部を改正する条例の制定について

議案の概要

平成25年度中に、宝塚市立売布北グラウンドの供用を開始するため、当該グラウンドの設置及び管理に関する事項を定めるとともに、その他所要の整備を行うため、条例の一部を改正しようとするもの。

論 点 1 売布北グラウンドについて

論 点 2 今後の管理運営について

<質疑の概要>

問1 条例改正により現在スポーツセンターに含まれている高司グラウンド、末広体育館と新設する売布北グラウンドがスポーツセンターと別施設となるが、市民への影響はないか。

答1 受付等は今までどおりであり、市民への影響はない。

問2 売布北グラウンドの取得にあたっては、地元から集会所設置の要望があったのではないか。

答2 集会所は、新たに入居する住民で構成する自治会に開発業者から無償譲渡し管理運営することとなる。周辺自治会も利用できるものとなる。

問3 現在スポーツ振興公社が指定管理者となっているが、今後、分割して指定管理者を指定する考えはあるか。

答3 現在検討中であるが市民の利用状況も踏まえ検討する。売布北グラウンドについてはすぐに利用を開始するため、現在のスポーツ振興公社での指定管理で利用を開始する。現在の指定管理者の指定は平成25年度までで、平成26年度からは新たに指定管理者を指定することになる。

問4 売布北グラウンドは野球場とテニスコートだけだが、野球場で他の競技はできるのか。

答4 可能かどうかは研究する。管理運営は指定管理者であり、より柔軟なアイデアを出してもらえる。

問5 テニスコートは増加する一方か。

答5 既存の施設を修繕して利用する方針。

問6 (仮称)花屋敷グラウンドも野球場の予定ではなかったか。

答6 (仮称)花屋敷グラウンドは野球もできる多目的グラウンドの予定。

自由討議
議員A バリアフリーではないため利用できない人がいる。対応を。
討 論 なし
審査結果 可決（全員一致）

議案番号及び議案名

議案第47号 工事請負契約(市立長尾幼稚園園舎新築(建築)工事)の締結について

議案の概要

市立長尾幼稚園の園舎の老朽化と、就園希望者の増加による保育室の不足に対応する必要があることから、山手台東1丁目地内において園舎棟などを新築するため、工事請負契約を締結しようとするもの。

論 点 1 設計について

<質疑の概要>

問1 最大限の安全対策はできるのか。

答1 子どものための施設であり安全対策は十分に作る。設計上、予算上で可能なものは対応する。

問2 保育室の数は十分か。

答2 設計では7室であり、現在5クラス、来年度は4クラスとなる予定。4、5歳児の保育室のほか、3歳児についても確保は可能。

問3 地域の子育て支援事業に関して設計上配慮したことは。

答3 地域の人が利用しやすいよう遊戯室を1階に設けている。また、ホールも余裕があり、子育て支援の場として活用できる。

問4 2階建ての園舎であるが、エレベーターが設置されていない。バリアフリーについての考えは。

答4 エレベーターの設置スペースはあり、必要となれば設置する。学校園施設では、子どもの生活や安全の確保、防災拠点としての観点から、必要性、緊急性の高いところからエレベーターの設置をしている。バリアフリーや安全対策については、必要な対応をしたい。

問5 敷地の出入口は1箇所か。出入口をふさがれると逃げられないのではないか。

答5 南西にある出入口の反対側にあたる、敷地東側から裏の山に出られる。

問6 工事についての周知と安全対策は。

答6 山手台、平井、山本の自治会に周知する。安全対策はガードマンの配置、左折進入左折出庫とし、児童生徒の安全については学校長と協議する。

問7 左折進入左折出庫するには、工事車両はどこかでUターンすることになるのか。

答7 中山五月台に上がり、降りてくる経路をとり、Uターンしなくても良い。

自由討議

議員A 追加工事としてでもエレベーターの設置をしていただきたい。

討 論 なし

審査結果 可決（全員一致）

議案番号及び議案名

請願第19号 長尾幼稚園の安全確保と地域に根ざした幼稚園となることを求める請願

請願の項目

- 1 子どもの安全が第一です。交通の危険性がかなり低い、既存地での建て替えも視野に入れた大胆な発想で、建設してください。
- 2 非常に見通しの悪い場所にある出入り口の再検討を含む、幼稚園周辺の交通安全の確保に最大限の力を注いでください。
- 3 話し合いの際には、市側と住民の密接な信頼関係を構築できるように、しっかり対話する姿勢を持ってください。そして今後、地域住民への説明に漏れがないよう注意してください。

<審査の概要>

本請願に関して、当局から提出された資料にある保護者の意見や当局への確認内容によると、他の現地周辺自治会や保護者からは園舎の老朽化や耐震性に対する不安、また現在の敷地面積の狭さから、子どもが伸び伸び遊べる広さのある移転地での建て替えを「1日も早く」と強く望む声があることを確認した。

委員会において現地を確認した際には、多数の委員より、請願の趣旨にあるように子どもの安全を最優先に考え、出入り口付近の歩道植樹の伐採による見通しの確保などを含め、出来る限り通園時の安全性を高めるための対策を取っていかねばならないという意見が出された。

設計などの準備が整っている現時点において、既存地での建て替えに変更することや出入り口の再検討などについては大変困難であるが、請願項目3にある「地域住民への説明に漏れがないように注意してください」という願いは十分に果たすべきであり、市と住民の密接な信頼関係が構築できるよう今後とも説明責任に努めなければならない。

園舎の移転地という理由からだけでなく、面する幹線道路は従来から渋滞などの交通状況の悪化が懸念されている。今後の山手台地区人口の増加を予測しながら、道路政策として改善策を考えるべきではないかとの意見が出された。

自由討議

議員A 安全対策と説明の配慮に欠けるもの。項目1は安全については大切だが、既存地での建て替えは無理ではないか。項目2は出入り口の再検討は難しいのではないか。

議員B 項目1の既存地での建て替え、項目2の出入り口の再検討はいずれも難しいが、項目3のしっかり対話し、十分な説明をすることはやっていただきたい。

議員C 項目3の一部採択ではどうか。

討 論 なし

審 査 結 果 一部採択〔項目3〕 (全員一致)